

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会
令和2年度実施事業の概要

目 次

	(頁)
令和2年度当初予算の概要（収支ベース）	1
【公益目的事業1】	
1 長寿社会啓発事業	2
（高齢者糖尿病予防対策推進等事業含む。）	
2 徳島県健康福祉祭開催事業	3
（関西シニアマスターズ大会派遣事業含む）	
3 全国健康福祉祭への選手等派遣事業	6
【公益目的事業2】	
4 シルバー大学校の開講事業	7
5 シルバー大学校大学院の開講事業	8
6 生き生きシニア放送講座開講事業	9
7 関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会	10
【公益目的事業3】	
8 アクティブシニア地域活動支援事業	11
(統合・廃止事業)	
高齢者の生きがいづくり活動促進等事業	12
徳島県高齢者総合相談センター運営事業	13

令和2年度当初予算の概要（収支ベース）

1 収入	(令和2年度当初予算)	(平成31年度当初予算)	増減額
(1) 補助金収入	131,945千円	124,703千円	7,242千円
(2) 委託金収入	1,513千円	8,851千円	△7,338千円
(3) 財産収入	495千円	495千円	0千円
(4) 授業料収入	4,800千円	4,800千円	0千円
(5) 販売収入・広告料収入	657千円	657千円	0千円
(6) 負担金収入	13,350千円	10,316千円	3,034千円
※合計	<u>152,760千円</u>	<u>149,822千円</u>	<u>2,938千円</u>
2 支出			
(1) 長寿社会啓発事業	12,323千円	13,136千円	△813千円
(うち高齢者糖尿病予防対策等推進事業)	(3,507千円)	(4,257千円)	(△750千円)
(2) 徳島県健康福祉祭開催事業	14,608千円	14,969千円	△361千円
(うち関西シニアマスターズ大会派遣事業)	(913千円)	(946千円)	(△33千円)
(3) 全国健康福祉祭への選手等派遣事業	26,506千円	21,235千円	5,271千円
(4) シルバー大学校の開講事業	37,111千円	37,432千円	△321千円
(5) シルバー大学校大学院の開講事業	25,211千円	25,420千円	△209千円
(6) 生き生きシニア放送講座開講事業	5,186千円	5,285千円	△99千円
(7) 関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会	1,904千円	2,012千円	△108千円
(8) アクティブシニア地域活動支援事業	15,628千円	0千円	15,628千円
(9) 管理費	14,283千円	14,990千円	△707千円
高齢者の生きがいづくり活動促進等事業	0千円	6,985千円	△6,985千円
徳島県高齢者総合相談センター運営事業	0千円	8,358千円	△8,358千円
※合計	<u>152,760千円</u>	<u>149,822千円</u>	<u>2,938千円</u>

(※参考)

議案書10頁、11頁「令和2年度収支予算(案)(正味財産増減計算方式)」の経常収益計・経常費用計と上記1収入・2支出(収支ベース)の差は、減価償却費計上の差による。

【公益目的事業1】

1 長寿社会啓発事業

令和2年度当初予算額	12,323 千円
平成31年度当初予算額	13,136 千円

1 目 的

広く県民各層に対し、長寿社会関係の様々な情報を多様な媒体で提供することにより、長寿社会の諸問題への取り組みについての意識の高揚を図ります。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 内 容

- (1) ホームページの作成（更新）
- (2) 事業概要パンフレットの作成
- (3) 豊かな長寿社会を考える情報誌「いのち輝く」の発行
- (4) 長寿社会憲章の普及

4 発行部数及び内容等

区 分	対 象	発行部数等	規 格 等	内 容 等
ホームページ	一 般 県 民	—	—	(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会実施事業の概要
パンフレット	一 般 県 民	1,000部	A4版片観音開	(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会の事業概要
情 報 誌 「いのち輝く」	一 般 県 民 関 係 機 関	4,200部 × 3回	A4版48頁 (32頁カラー刷り)	①地域社会各種グループ等で活躍している高齢者の紹介 ②(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会の事業案内・実績報告 ③高齢者に関心の高い或いは役立つ問題をテーマにした特集 ④高齢者を対象とした各種催し等の紹介等
長寿社会憲章	一 般 県 民	複写(適宜)	A4版	とくしま長寿社会憲章の普及

【公益目的事業1】

2 徳島県健康福祉祭開催事業

令和2年度当初予算額	14,608 千円
平成31年度当初予算額	14,969 千円

1 目 的

世代を超えた幅広い分野からの参加者のふれあいと交流により、互いの理解を深め、「ぬくもりと活力のある長寿社会」づくりについてともに考え、県民が一体となって取り組んでいくための契機とします。

(1) 県民意識の高揚

福祉・健康・生きがい関連イベントの総合的な展開を図ることにより、多くの県民の理解と関心を深め、全ての県民が一体となって「ぬくもりと活力のある長寿社会」づくりに取り組もうとする意識の高揚を図ります。

(2) 健康と生きがいづくりの推進

高齢者自身の健康で生きがいのある生活の実現とともに、高齢者を取り巻く各世代の人々の活躍を促すため、本祭典のイベントを通じ、県民に対し、健康で生きがいを持って充実した人生を送ることについて考える機会の提供を図ります。

(3) いきいきとした高齢者像の普及啓発

明るく活力に満ちた高齢社会の確立に向け、地域や社会生活の中で長年にわたり培ってきた経験や知識を生かして、社会の有力な担い手として活躍する高齢者のイメージを普及啓発します。

(4) 県下各地域への普及促進

本祭典の開催を通じ、こうした取り組みの県下各地域への普及を図ります。徳島市内を中心に開催している「県健康福祉祭」に加え、県南部・県西部においても「県健康福祉祭サテライト大会」を開催することで、「地方からの参加者にも、身近で親しみやすい」大会とし、事業効果を県内すみずみに波及させます。

2 実施主体

徳島県、公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 大会概要

(1) 大会名(愛称)

第26回徳島県健康福祉祭(2020とくしまねりんピック)

(2) 期 日

総合開会式(東部大会開会式) 令和2年10月17日(土)

南部サテライト大会開会式 令和2年10月 3日(土)

西部サテライト大会開会式 令和2年10月10日(土)

(3) 開催地

東 部 大 会 (吉野川南岸運動広場 ほか)

南部サテライト大会(阿南市那賀川河川敷明見グラウンド ほか)

西部サテライト大会(美馬市吉野川河畔ふれあい広場 ほか)

(4) 行事の概要

別紙のとおり

(別 紙)

徳島県健康福祉祭等の概要

1 総合開会式（吉野川南岸運動広場）

(1) 趣 旨

徳島県健康福祉祭の記念式典として、県下各地域からの参加者が一体となって交流を深め、高齢者が健康で社会の担い手として活躍できる社会づくりを推進します。

(2) 内 容

- ① 開会宣言
- ② 大会長あいさつ
- ③ 来賓あいさつ
- ④ 参加者代表選手宣誓
- ⑤ 健康体操

2 スポーツ交流大会

(1) 趣 旨

高齢者に適したスポーツを通じて、積極的な健康づくりの推進と、世代間・地域間の協調と交流を図り、ふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進します。

(2) 内 容

①徳島県健康福祉祭（東部大会）

種 目	参加予定者数	種 目	参加予定者数
卓 球	90人	サ ッ カ ー	90人
テ ニ ス	60人	ターゲット・バードゴルフ	50人
ソフトテニス	40人	デ ィ ス コ ン	80人
ソフトボール	100人	ネイチャーゲーム	30人
ゲートボール	140人	吹 矢	20人
ペ タ ン ク	50人	パ ー ク ゴ ル フ	60人
弓 道	30人	ノルディック・ウォーク	40人
剣 道	40人	ウ オ ー キ ン グ	40人
グラウンド・ゴルフ	550人	ラダーゲッター	80人
ソフトバレーボール	40人	カ ロ ー リ ン グ	200人
ウォークラリー	80人	太 極 拳	100人

②徳島県健康福祉祭サテライト大会

南部サテライト大会

種 目	参加予定者数	種 目	参加予定者数
ゲートボール	70人	ネイチャーゲーム	30人
グラウンド・ゴルフ	450人	デ ィ ス コ ン	80人
テ ニ ス	40人	ラダーゲッター	70人
ウ オ ー キ ン グ	60人	ノルディック・ウォーク	50人
スポーツウェルネス吹矢	30人		

西部サテライト大会

種 目	参加予定者数	種 目	参加予定者数
ゲートボール	100人	パ ー ク ゴ ル フ	80人
グラウンド・ゴルフ	300人	吹 矢	20人
ウ オ ー キ ン グ	40人	デ ィ ス コ ン	80人
ネイチャーゲーム	20人	ラダーゲッター	80人
ノルディック・ウォーク	40人	カ ロ ー リ ン グ	150人

(3) 表 彰

各種目の上位入賞者（チーム）を表彰します。

3 文化交流大会

(1) 趣 旨

高齢者が日常生活の中で親しんでいる囲碁・将棋・かるた・健康マージャンを通じて、参加者相互の交流を図るとともに、広く仲間づくり、生きがいを推進します。

(2) 内 容

囲碁交流大会・将棋交流大会・かるた交流大会及び健康マージャン交流大会を実施します。

交流大会の区分	参加予定者数	交流大会の区分	参加予定者数
囲碁交流大会	60人	かるた交流大会	20人
将棋交流大会	30人	健康マージャン交流大会	50人

(3) 表 彰

それぞれ上位入賞者を表彰します。

(4) 参加予定者数

200名

4 美術展

(1) 趣 旨

高齢者の創作による絵画、彫刻、工芸、書、写真の各作品を展示し、高齢者の文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいを推進します。

(2) 内 容

高齢者の創作した絵画、彫刻、工芸、書、写真の作品を県下各地域から募集し、展示します。

(3) 表 彰

各作品部門毎に、優秀賞及び特別賞を贈ります。

(4) 出品予定数

200点

5 小学生の作文・絵コンクール

(1) 趣 旨

県内の小学生から長寿社会に関する作文及び絵を募集することにより、今後の長寿社会に関する効果的な意識啓発を図るとともに、高齢社会を身近に捉え、その在り方を考える契機とします。

(2) 内 容

① 作文 敬老・高齢者等との関わり等

② 絵 両親・家族等、身近な人が65歳になったときの想像図

※ 「小学生の絵」については、応募のあった全作品を展示します。

(3) 出品予定数

① 作文 1,500点

② 絵 300点

6 第4回関西シニアマスターズ大会への参加

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催を契機とし、生涯スポーツの機運を高め、そのレガシーを継承していくための方策として、関西全体のスポーツ愛好家が参加できる新たな中・高年層のスポーツ交流大会「関西シニアマスターズ大会」が、令和2年度は兵庫県で開催される予定であり、競技団体と連携しながら、開催競技への参加を促進します。

【公益目的事業1】

3 全国健康福祉祭への選手等派遣事業

令和2年度当初予算額	26,506 千円
平成31年度当初予算額	21,235 千円

1 目 的

健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発運動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持、社会参加・生きがいの高揚等を図るために実施される「全国健康福祉祭」に選手等を派遣することにより、参加者の自立意識の高揚を図るとともに、本県の「ぬくもりと活力のある長寿社会」づくりに寄与します。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 後 援

徳島県、徳島県教育委員会、徳島県社会福祉協議会、徳島県老人クラブ連合会、徳島県体育協会、徳島県レクリエーション協会

4 期 日

令和2年10月31日（土）～11月3日（火）

5 場 所

岐阜県岐阜市ほか

6 派遣予定人員

250名

7 派遣種目等

区分	種 目	会 場 地	派遣予定人数	区分	種 目	会 場 地	派遣予定人数
スポーツ交流大会	卓 球	中津川市	1チーム 8人	ふれあいスポーツ交流大会	水 泳	岐 阜 市	8人
	テ ニ ス	岐 阜 市	1チーム 9人		グラウンド・ゴルフ	羽 島 市	1チーム 6人
	ソフトテニス	瑞穂市・大垣市	1チーム 9人		ラグビーフットボール	関市・郡上市	1チーム 25人
	ソフトボール	揖斐川町	1チーム 15人		サ ッ カ ー	飛 騨 市	1チーム 20人
	ゲートボール	笠 松 町	3チーム 27人		ソフトバレーボール	山 県 市	1チーム 9人
	ペ タ ン ク	養 老 町	1チーム 4人		ウォークラリー	美 濃 市	1チーム 5人
	ゴ ル フ	関 市	1チーム 3人		太 極 拳	下 呂 市	1チーム 8人
	マ ラ ソ ン	海 津 市	6人		ダンススポーツ	高 山 市	1チーム 9人
	弓 道	岐 阜 市	1チーム 8人		ディスクゴルフ	御 嵩 町	4人
	剣 道	関市・郡上市	1チーム 8人		マレットゴルフ	恵 那 市	4人
(小計)		97人	インディアカ		各務原市	1チーム 8人	
文化交流大会・美術展	囲 碁	大 垣 市	1チーム 3人		オリエンテーリング	下 呂 市	1チーム 3人
	将 棋	美濃加茂市	1チーム 3人		ターゲットバードゴルフ	各務原市	1チーム 4人
	俳 句	大 垣 市	—		バウンドテニス	瑞 浪 市	1チーム 8人
	健康マーじゃん	大 垣 市	1チーム 4人		スポーツウェルネス祭	池 田 町	1チーム 8人
	か る た	可 児 市	1チーム 5人		パドルテニス	多 治 見 市	1チーム 9人
	美 術 展	岐 阜 市	—	(小計)		138人	
	(小計)		15人	合 計		250人	

【公益目的事業2】

4 シルバー大学の開講事業

令和2年度当初予算額	37,111 千円
平成31年度当初予算額	37,432 千円

1 目的

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう能力の再開発を支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 入学資格

55歳以上(昭和40年4月1日以前生まれ)の者で学習意欲があり、卒業後は地域社会活動の指導にあたる意欲がある者

4 入学金・授業料等

(1) 入学金 無料

(2) 授業料 年間5,000円(消費税込み) ※実習等に要する材料費等は別途受講者実費負担

5 修学期間等

6月から翌年3月まで(年間30日)

6 第39期生・各校別コース等

区分	主な学習場所	開始年度	コース		定員
徳島校	徳島県立総合福祉センター	昭和56年度	一般教養講座	歴史文化コース	30名
				園芸コース	30名
				食品加工コース	25名
				芸術コース	15名
				健康コース	20名
				ICTコース(2コース)	40名
				防災コース	15名
				中国語会話コース	15名
				英会話コース	20名
英会話(初級)コース	15名				
鳴門校	鳴門・大塚スポーツパーク うずしお会館	平成6年度	一般教養講座	食品加工コース	24名
				ICTコース	26名
小松島校	小松島市総合福祉センター	平成10年度	一般教養講座	総合コース	25名
				園芸コース	10名
阿南校	阿南ひまわり会館 阿南市富岡公民館	昭和59年度	一般教養講座	歴史文化コース	25名
				ICTコース	20名
				英会話(初級)コース	15名
吉野川校	吉野川市文化研修センター	昭和61年度	一般教養講座	園芸コース	25名
				ICTコース	30名
				英会話(初級)コース	15名
美馬校	美馬市地域交流センター	平成5年度	一般教養講座	総合コース	15名
				ICTコース	20名
牟岐校	牟岐町の総合文化センター	昭和62年	一般教養講座	食品健康コース	20名
上板校	上板町老人福祉センター	平成8年度	一般教養講座	総合コース	25名
東みよし校	東みよし町東部福祉センター	平成元年度	一般教養講座	健康コース	20名
				ICTコース	15名
計					555名

※ 東みよし校に「健康コース」を新設

※ 徳島校「中国語会話コース」及び「英会話コース(初級は除く)」は、大学校(1年)・大学院(1年)のリレー講座(2カ年講座)

【公益目的事業2】 5 シルバー大学校大学院の開講事業

令和2年度当初予算額	25,211千円
平成31年度当初予算額	25,420千円

1 目的

高齢者の方々が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、専門的で高いレベルの学習機会を提供し、卒業後は、社会貢献活動を推進する人材を育成します。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 入学資格

- (1) 県内に在住する55歳以上（昭和40年4月1日以前生まれ）の者
- (2) 学習意欲があり、卒業後は社会貢献活動をしたいと考えている方
- (3) 徳島県シルバー大学校大学院の卒業生は、既卒業講座以外への出願に限る。
- (4) ICT講座はパソコンの基本操作（文字入力等）ができ、Word、Excelの初歩的知識のある者
- (5) おもてなし外国語講座は、シルバー大学校・大学院2年間のリレー講座ですが、次の条件を満たす方について、シルバー大学校からの入学生以外に追加募集を行う。
 - ◎ 簡単な会話について外国人とコミュニケーションをとる自信があり、卒業後に観光ボランティアガイド活動が可能な方（追加募集人数：中国語会話若干名、英会話若干名）

4 入学金・授業料等

- (1) 入学金 無料
- (2) 授業料 年間10,000円（消費税込み）
 - ※ 資格取得のための受験料、実習に要する経費等は別途受講者実費負担

5 修学期間等

- (1) 防災講座は4月から翌年3月まで（年間40日程度）
- (2) おもてなし外国語講座は5月から翌年3月まで（年間35日程度）
- (3) その他の講座は5月から翌年3月まで（年間40日程度）

6 第17期生・開講講座等

講座名	主な学習場所	定員	主な講座内容等
防災講座	徳島大学 (常三島キャンパス) 徳島県立防災センター	15名	①徳島大学防災リーダー養成講座を受講 ②防災関係の専門的研修等 ※ 徳島県地域防災推進員の資格取得及び防災士の受験資格
歴史文化講座	徳島県立 総合福祉センター	25名	①郷土の歴史や文化 ②現地研修 ③卒業論文 ※ 各自でテーマを設定の上研究し、卒業論文を提出
健康スポーツ講座	鳴門・大塚 スポーツパーク (鳴門総合運動公園)	25名	①レクリエーション基礎理論 ②レクリエーション支援理論 ③グラウンド・ゴルフ、3B体操等実技講習 ④各種ニュースポーツ実習 ※ レクインストラクター等資格取得
ICT①講座	徳島県立	25名	①ウィンドウズ基本操作
ICT②講座	総合福祉センター	25名	②ワード、エクセル、パワーポイント
ICT③講座	阿南市富岡公民館	15名	③メール、インターネット等
ICT④講座	東みよし町東部福祉センター	15名	※ シニアITアドバイザー資格取得
おもてなし外国語講座			
中国語会話	徳島県立 総合福祉センター	15名	①中国語・英語の日常会話・観光案内等 ②各分野のエキスパートによる観光講座
英会話		20名	※ 卒業後は徳島GGクラブに入会 GG=Goodwill Guide (善意通訳)
合計		180名	

【公益目的事業2】

6 活き活きシニア放送講座開講事業

令和2年度当初予算額	5,186 千円
平成31年度当初予算額	5,285 千円

1 目 的

指導者育成・生涯学習の場として県下9箇所で「シルバー大学校」を開講していますが、様々な理由により通学が困難な場合もあることから、そのようなシニアの方にケーブルテレビを活用した「自宅で受講できるシニア向けの講座」を開設することにより、「生きがいつくり」や「地域活動参加のきっかけづくり」を醸成します。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 事業内容

(1) 受講資格

県内に在住する55歳以上（昭和40年4月1日以前生まれ）の者

(2) 授業料

年間1,000円（消費税込み）

(3) 放送内容

シルバー大学校の講座等、シニア世代に関心の高いと思われる講座（8講座）を選定し、県内全域のケーブルテレビで放送

(4) 放送回数・期間

各局月3回以上（10月～3月）

(5) 放送時間

1回約50分

【公益目的事業2】

7 関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会

令和2年度当初予算額	1,904 千円
平成31年度当初予算額	2,012 千円

1 目的

高齢者がいつまでも『生涯現役』で、地域社会の担い手として活躍できる長寿社会を実現するためには、「生きがいづくり」や「地域福祉を推進するリーダー養成」というシルバー大学校の理念の更なる充実が望まれています。

そこで、関西広域連合における構成府県との結び付きを活かした、関西圏各府県のシニアカレッジとの連携による高齢者の交流促進を首都圏のシニアカレッジまで拡大し、より広範囲な交流を図ることにより、高齢者が有する「知識」「能力」の更なる向上を図ります。

2 実施主体

徳島県、公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 事業内容

(1) 関西広域連合内及び首都圏のシルバー大学校等との意見交換や体験学習を行い、高齢者の交流と連携を図ります。

① 開催日 令和2年10月16日(金)～17日(土)

② 場所 兵庫県内

③ 実施内容(予定)

◎ 10月16日(金)

- ・講演・学習発表、体験学習、施設見学
- ・交流交歓会

◎ 10月17日(土)

- ・兵庫県内の史跡見学

(2) 参加予定団体

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、東京都、神奈川県、徳島県のシニアカレッジ関係者など

【参考】

関西シニアカレッジ交流会……徳島県からの提案で、平成24年度から8回開催。平成29年度からは、首都圏のシニアカレッジを含めた「関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会」として開催。

※ 徳島県では、4回開催(平成24・27・29・令和元年度)

【公益目的事業3】

8 アクティブシニア地域活動支援事業

令和2年度当初予算額	15,628 千円
平成31年度当初予算額	0 千円

1 目的

本格的な超高齢社会、人口減少社会を迎え、生産年齢人口の減少による地域コミュニティの担い手不足が大きな課題となっています。

そこで、これまで当協議会が取り組んできたシルバー大学校・大学院の運営による「人材養成」及びシルバー大学院卒業生を中心とした「生きがづくり推進員」制度の成果・ノウハウを活かし、アクティブシニアの地域貢献活動を支える「活動拠点」を整備し、人生100年時代の到来を見据えた社会・地域の様々な分野・場面での「活躍する高齢者」の更なる拡大・充実を図り、「生涯現役社会」の実現を図ります。

2 実施主体

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

3 事業内容

(1) 「アクティブシニア地域活動支援センター」の開設

- ◎元気な高齢者が、自治体・地域・各種団体と連携し、より主体的に、より多様な形で「地域を支える主体」として活躍することを支援する、高齢者参加型の「プラットフォーム（活動拠点）」の開設・運営
 - センターの運営方針（制度設計）に係る検討会の設置（開設後は運営会議に移行）
 - センターをマネジメントする社会貢献支援コーディネータ・サブコーディネータの配置
 - 地域のニーズ等と高齢者のスキルを繋ぐ「マッチングシステム」の構築
 - 活動メンバーのサロン（活動拠点）的な役割

(2) 地域貢献活動リカレント講座の実施

- ◎いきがづくり推進員からの提案（現場の声）や地域・社会ニーズに応じた社会貢献活動「リカレント講座」の開設・運営
 - ①プログラミング講座
 - ②外国人のための生活支援等講座
 - ③上級救命講習会及び防災ボランティア体験講座

(3) 生きがづくり推進員の活動支援、組織化支援、ボランティア団体の運営支援、情報発進等

- ◎生きがづくり推進員の活動支援やシルバー大学校、同院OB会の活動支援、ICT講習会の開催
- ◎生きがづくり推進員「外国語分野」の新設（社会貢献活動の新分野の組織化）
 - ※現行：生きがづくり推進員では、シルバー院コース毎に「防災」「ICT」等分野別支援母体を編成
- ◎ボランティア団体の設立、運営支援
- ◎有償ボランティア（NPO法人化、NPO法人との連携）支援
- ◎既存の「シニア応援サイト」の更新頻度の向上やボランティア情報の充実 等

高齢者の生きがづくり活動促進等事業

令和2年度当初予算額	-
平成31年度当初予算額	6,985 千円

1 目 的

高齢者が「生涯現役」として活躍するためには、「社会参加の促進」が図れる環境整備が必要である。このため、これまでに構築した「生きがづくり推進員」の活躍の場を創出するための仕組みを活かして、更に活躍の場を広げることとする。併せてシルバー大学校・大学院卒業生で構成するOB会が地域貢献活動の核として機能するよう、その取り組みを支援する。

また、「地域ICT講習会」を開催し、高齢者等の情報交換・交流等を行うことにより、同地域・同世代の高齢者等同士の輪を築き、地域内で安心して暮らせる高齢者等の支え合いを支援する。

(1) 生きがづくり推進員の更なる活動促進

- ① シルバー大学校運営等サポートスタッフとしての活動
- ② 観光ボランティアガイド（阿波十郎兵衛屋敷）としての活動
- ③ シルバー大学校ICTコースの講師としての活動
- ④ 「パソコン講座」での講師としての活動
- ⑤ 小学校でのプログラミング授業での講師・補助講師としての活動
- ⑥ シルバーニューススポーツ教室等での指導員としての活動
- ⑦ 徳島県立防災センターイベント等での補助スタッフとしての活動
- ⑧ 防災出前講座での講師としての活動
- ⑨ 県内で開催される国際大会、外国大型クルーズ船の寄港、地域での外国人を交えたイベント等での通訳等ボランティアとしての活動
- ⑩ シニア応援サイトのデータベースの更新及び情報発信

(2) シルバー大学校・同大学院OB会の活動支援

- ① シルバー大学校OB会による地域貢献活動に対する支援
- ② シルバー大学校大学院OB会が実施する研修事業等に対する支援
- ③ シルバー大学校各連合OB会会長会議の開催
- ④ シルバー大学校各校OB会合同事業に対する支援

(3) 「地域ICT講習会」の開催

- ① 鳴門市、阿南市、吉野川市、美馬市の4地域で3日間の「パソコン講座」を開催

(廃止)

徳島県高齢者総合相談センター運営事業

令和2年度当初予算額	-
平成31年度当初予算額	8,358 千円

1 徳島県高齢者総合相談センター運営事業の廃止について

当該相談業務については、業務開始時から近年に至るまでの間、悩みを持つ高齢者等のよりどころとして、有意義な成果があったところであるが、時代とともに相談環境も変化し、県からの委託により当協議会が当業務を実施する「必要性」や「需要」が低下してきたため廃止する。

(1) 他相談機関の充実

当協議会においては、平成6年度から「高齢者相談センター（シルバー110番）」を設置し、高齢者等を対象に、電話相談を中心に各種相談に対応してきたところである。

しかしながら、平成18年度、高齢者の総合相談窓口となる「地域包括支援センター」が、県内全市町村にされ、その後13年以上が経過し、地域包括支援センターの認知度の向上に加え、相談支援体制も充実されてきた。

また、「心の相談」、「法テラス」及び「司法書士総合相談センター」などの専門相談について
(県精神保健福祉センター) (日本司法支援センター) (日本司法書士会連合会)

も充実してきている。

(2) 相談件数の減少

年 度	H15	H18	H30	R元(2月まで)
高齢者総合相談センター相談件数	1,956件	1,620件	718件	647件

H18：地域包括支援センター全県設置時

(参考) 地域包括支援センターのH30相談件数は、約7万件（当センターの約100倍）